

1年のうち田に水が入り、田植え前だけの貴重な1日
 ～国立の田んぼに飛び込める！
 「くにたちどろまみれ 2023」～
 “泥の田んぼで季節と自然を実体験。
 2011年より開催13年目、施設と畑を拡大し、参加者300人をめざす！”

NPO 法人「くにたち農園の会」(代表：小野 淳)は、昨年に引き続き開催13年目の「くにたちどろまみれ 2023」を、本年も下記要領にて開催します。

これは国立市谷保の自然の中に残る貴重な田んぼで、どろあそびの体験を行うもので、田に水が入り、かつ田植え前といった、1年の間でもほんのわずかなタイミングにしか出来ないものです。このイベントは2011年に国立市が「農業農地を生かしたまちづくり」計画の一環として、私たちのコミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」(JR 谷保駅より徒歩15分)において、同市主催により「くにたちどろまみれ！」としてスタート。2013年より、私たちが引き継ぎ、今年で13年目の開催となります。昨年の参加者は計121人(コロナによる人数制限の為、例年は約200人)。また、昨年にはトイレと母屋を拡張、加えて今回は使用する畑を拡大し、参加者300人を目指します。(昨年の2.5倍、例年の1.5倍)

当イベントの責任者 武藤 芳暉(農園事業代表)は「コロナ禍も落ち着いた今年は、こどもも大人も思いっきり心身を解放して泥まみれになってもらいたいです。一旦、田んぼに入ってしまうと、泥の中が温かく、気持ちよくなること間違いなし！です。」と語っています。さらに「田んぼで泥まみれになれるのは1年でこの日だけ！大人数の受け入れ体制も整えました。是非ご参加ください！」と述べています。

※ 「くにたち農園の会」につきまして

くにたち農園の会は2013年にコミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」を開園、2016年にNPO 法人として設立。現在、「はたけんぼ」を筆頭に、「子育て古民家 つちのこや」「ゲストハウス ここたまや」「認定こども園富士見台団地風の子」「レンタルスペース 畑の家」と5つの事業所を展開。「くにたち はたけんぼ」には年間7000人超、すべての事業所を合わせると年間累計10000人以上の方々を迎えています。

私たちは「耕そう！遊ぼう！つかみ穫ろう！東京の田畑で育つ生きる力」をテーマに、「土に根差し 共に育つ たくましい地域を次世代へ」の実現を目指して、「農体験」と「子育て」を2本柱に田畑とつながる子育て支援や多様な人々への農や自然体験を実践しています。(くにたち農園の会ホームページ <https://hatakenbo.org/>)

記

<日時> 2023年6月3日(土) 9:30(開場)/10:00(開会)～15:00(終了) <雨天決行/荒天中止>

<会場> くにたち はたけんぼ(国立市谷保661) JR 南武線谷保駅より徒歩15分 [アクセス](#)

<内容> どろ玉入れ、どろゾリレース、どろりレー、どろフラッグなど

<入場料> 大人2000円(小学生以上)、子ども1000円(3歳～未就学児)、3歳未満は無料

*小学生以下は大人の同伴入場が必要です <保険代含・当日現地にて現金払>

<イベント詳細/申込サイト> (HP 内) https://hatakenbo.org/infomation/doromamire_2023

<お問い合わせ> event.nouennokai@gmail.com

<協賛/協力> [ニッポー設備株式会社](#)、[株式会社メトロール](#) / [株式会社エマリコ](#)くにたち

<掲載・取材等のお問合せ> NPO 法人 くにたち農園の会

広報担当：高瀬 健男 takeotakase@gmail.com 090-6568-1958

農園事業 代表：武藤 芳暉 yoshi.mu6@gmail.com 090-5829-0193

以上